

緑のセンターだより

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター(相談所)

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel 0166-65-5553 Fax 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>



No.177

発行:平成31年4月1日

講習会のご案内

(お申込み・受付は、前月の20日から)

「洋ランの植替え～シンビジウム、1人2鉢まで

とき 平成31年4月20日(土) 実費
午後1:30～3:30 定員20名

講師 緑のセンター相談員



「神楽岡公園・春の自然観察」～春の野草を探そう～

とき 平成31年5月6日(月)祝 *小学生以上*
午後1:30～3:30 定員20名

講師 旭川帰化植物研究会
代表 塩田 惇さん



「洋ランの植替え～コチョウラン他、1人2鉢まで

とき 平成31年4月21日(日) 実費
午後1:30～3:30 定員20名

講師 緑のセンター相談員



「花、野菜の病害虫防除について」

とき 平成31年5月11日(土)
午後1:30～3:30 定員30名

講師 緑のセンター相談員



平成31年度 連続講座のお知らせ

午後 1 : 30 ~ 3 : 30

「春のタイリントキソウと 夏のサギソウを 楽しむ講座」

4/ 7日(日)、7/28日(日)

9/15日(日) (全3回)



¥1,000 定員20名

「これから始める 家庭菜園の 初級講座

4/27(土)、6/ 8(土)

7/20(土) (全3回)



¥500 定員20名

「誰でも楽しめる 美しい 菊ガーデン講座」

5/25(土)、6/15(土)

10/12(土) (全3回)



¥500 定員20名

展示会のご案内

(初日は午後から、最終日は4時まで)



「野の花写真展」4月 6日～5月 6日

「山野草展」5月24日～5月26日

「サツキ展と相談会」5月31日～6月 2日

【休館日のお知らせ】

4月～10月は第2・4月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

11月～ 3月は毎週月曜日が休館日です。(")



5月31日～6月2日 相談:随時.無料
旭川さつき会

〈園芸の基礎知識〉 植物の花成と開花

～ 花の開花のしくみ ～

■開花の刺激

「ツボミが大きく育てば、ひとりでに、花は開く」と思われるかもしれませんが、しかし、ツボミはおもに3つの刺激のどれかを感じて花が開きます。1つ目は気温が上がると開花する植物、2つ目は明るくなると開花する植物、3つ目は暗くなることが刺激となって時間を計り始め、何時間後かに開花する植物があります。

ツボミをもった鉢植えを、温度が変化しない部屋に置いて、電灯をつけっぱなしにして明るさも変化しないようにすると、ツボミは大きくなりますが、いつまでも花が開くことはありません。なんの刺激も感じないからです。

■ツボミが開くときのしくみ

開花直前の花びらの細胞には、デンプン粒が数多く見られます。デンプンはブドウ糖からできており、デンプンが分解されるとブドウ糖ができます。開花する際には花びらのなかのデンプン粒が消えて、ブドウ糖の量がかなり増えていきます。

花びらの細胞の中でブドウ糖が増えると、花びらが水を吸収する力が強くなります。液体には、濃度が違う場合、混じり合って同じ濃度になろうとする性質があるためです。

花びらの中のブドウ糖の濃い液が茎を通して水を吸い込むのです。その結果、ツボミの花びらには、多くの水が入ってきて大きく膨張します。花びらが水を吸って大きく膨張するにつれて、花びらが開きます。

(参考資料:ソフトバンククリエイティブ「植物学「超」入門」、「花のふしぎ100」ほか)

図 サツキツツジのツボミが開く過程



緑の相談 Q&A (51)

クチナシを育てています。現在、花芽が膨らみ開きそうになっていますが、葉が黄色くなってきています。この原因はなんでしょうか？ 植え替えは3年くらい前に行っています。水やりは、夏場で1日おき、冬場は5～6日に1回与えています。



クチナシは本州中部以西が原産のアカネ科の常緑低木です。本州などでは庭木としてよく使われますが、寒さに弱いので、道内では室内で育てる鉢花として園芸店などで販売されています。単にクチナシとして鉢植えで販売されている多くは、小型のクチナシで一重と八重があります。この他に四季咲き多花性の改良品種もあります。何れも純白の花で、5月中旬～7月中旬頃に開花すると甘い香りを漂わせます。ご相談が葉が黄色くなってきた原因ですが、下葉だけが黄色くなった場合は、新葉との交代期と考えられ心配ないと思います。ただし、全体が黄色くなってきた場合は、肥料切れか根に原因がある可能性が高いです。まず肥料ですが、2000倍希釈程度の花用液肥を施してください。乾燥を嫌うので、水やりは鉢土の表面が乾いたらタップリ与え、半日陰の場所で管理してください。花が終わりましたら、直ちにせん定して、通気性と保湿性のある混合土(例:赤玉土6腐葉土4)などで植え替えしてみてください。

(参考資料:NHK 出版「趣味の園芸」、北海道新聞社「北海道のはなづくり問答」ほか)

※「緑の相談 Q&A」のコーナーは、今回を持ちまして終了とさせていただきます。長くお読みいただき大変ありがとうございました。次号からこのコーナーは、新たな内容でスタートいたしますのでご期待ください。

植物の病害虫

その48 「ナガメ」



アスパラの葉に産卵した卵塊



カップルで行動することが多い



キクの葉に群がる成虫と幼虫

分類は昆虫綱・カメムシ目・カメムシ科。なの花につくカメムシなので菜亀虫とも呼ばれています。日本では北海道から、本州、四国、九州にいたる全国に分布しています。

1 寄生しやすい植物

ストック、ヒマワリ、キク、イネ、クワ、コマツナ、キャベツ、ダイコン、カブ、ナズナ、イヌガラシなどアブラナ科の植物やその他の植物。

2 被害

成虫、幼虫ともに生長点付近の若い葉や花穂に寄生して吸汁加害します。葉の被害は表面に白色点状吸汁痕が多数生じるので品質の低下を招きます。また、激しい場合には葉が変形して萎縮します。黄変して枯れることがあります。花穂では蕾のときに被害を受けることが多いので、花が開かなくなったり、開花しても花卉が変色して商品価値を著しく損ないます。

3 生態

年2回発生し、成虫態で越冬します。越冬幼虫は5月中旬ごろから活動を始め、ハウス栽培のストックに飛来します。成虫はストックの葉裏などに塊めて2列に産卵します。孵化幼虫は当初は卵塊の周辺に静止して集合生活をしますが、やがて生長点付近に移動分散して、新葉を吸汁加害します。幼虫は5齢を経て6月下旬～7月上旬に成虫となります。この成虫は再び産卵し、幼虫を経過して、8月下旬～9月には3回目の成虫が発生します。

4 防除法

ア ハウスの周辺にアブラナ科植物が栽培されている場合は、成虫の飛来に注意します(防中ネットを被せ防ぐ方法も有効)。

イ 人の気配を感じると葉裏に隠れますが、気温の低い時は動きが鈍いので、早朝か夕方に除去作業を行うと簡単に捕獲できます。

ウ 成虫の飛来をみて薬剤散布します。

カーネーションを毎年、楽しむ

ナデシコ科 ナデシコ属

カーネーションは母の日に贈る花として親しまれています。鉢花
でいただいても、残念ながら蕾のまま咲かなかつたり、すぐ枯れて
しまうなどを耳にします。そんな時はせつかくの贈り物、申し訳ない
気持ちにもなりますが、次に生かすことにしましょう。ちなみに、
白花は亡き母への感謝の気持ちを表す色とされています。



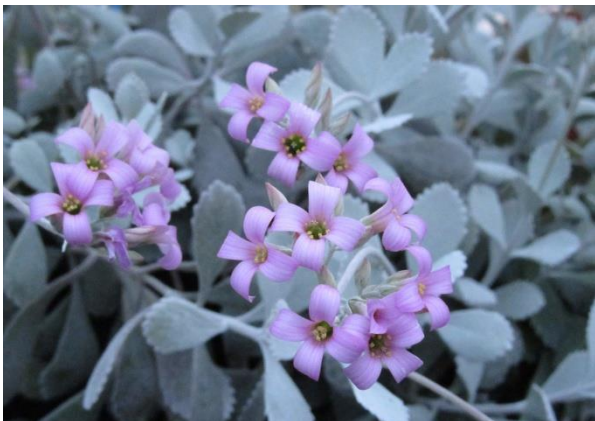
.....く 失敗しない管理のコツ >.....

- 1 置き場と水やり**.....カーネーションは日当たりがよく、乾燥した環境を好みます。反面、高温多湿に弱く暑さを嫌い(生育適温 15~20℃)ます。また、乾燥には比較的強いものの多湿は根腐れして枯れやすいので、できるだけ空気が動く場所に置き、土が乾いてきたら鉢底から流れ出るくらい水をたっぷりやるのが基本です。また、鉢皿に水が溜まっているようでは根腐れしやすいので、必ず捨てるようにします。
- 2 花後の基本管理**...①咲き終わった花がらや黄色になった葉をこまめに摘む。②ひと通り咲き終わったら、上から1/3程度のところで切り戻す。枯れ枝や細い茎を取り除いても更に茎が混んでいるようなら間引きして風通しを良くする。③水の通りが悪かったり、鉢が小さいようであれば、根鉢は崩さないようにして鉢増しする。④肥料は春と秋の生育期にだけ与える。緩効性の置肥なら月に1回。液肥の場合は2,000倍程度のものを10日に1回与えておくと、秋にはまた咲き始めて楽しむ事が出来ます。
- 3 植え替え時期と用土**...根詰まりは、蕾の不開花や下葉の枯れ上がりの原因になるので、毎年、秋になったら根鉢をくずして一回り大きな鉢に植え替えます。用土は赤玉土小粒7、腐葉土3の混合用土を基本にして、少量の苦土石灰を混ぜておくとよいでしょう。
- 4 その他**...①咲かない蕾: 株の体力以上に蕾をつける性質があるので、蕾を触って柔らかいものは早めに摘み取り、中身のある大きな蕾だけを咲かせるようにします。②殖やし方: 古株は生育が悪く草姿も乱れるので、6月または9月に蕾がない側枝を4~5cmに切って「さし芽」を作り更新します。水揚げして赤玉土(小粒)に挿して1か月ぐらいで発根するのでポットで育苗し、摘心して芽数を増やします。

展示室の植物 (83)

カラコエ プミラ

学名: *Kalanchoe pumila* ベンケイソウ科 リュウキュウベンケイ属



マダガスカルの中高地が原産の植物です。高さは15cmほどですが、1月~3月にかけて花びらを反らせて、ピンク色に染まった花を咲かせます。葉が白いため花がより際立ちますが、どちらかという花というよりも葉の鑑賞を楽しむために作られた多肉植物と云われ、「白銀の舞(シロガネノマイ)」という別名があります。

また、花言葉には、「幸福を告げる」や「たくさんの小さな思い出」という意味も含まれているそうです。